

iSUC (アイザック：IBM System Users Conference) は、
3日間で集中的にスキルアップを図り、
人脈を広げることができる、
IBMシステム・ユーザーのための研鑽・交流会です

会場：朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター



第27回 iSUC 新潟大会

2016年 **10月19日** 水 ~ **21日** 金

開催地：新潟県新潟市

会場：朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター

<https://www.tokimesse.com/>

- 目的** IT研鑽、人材育成、参加者交流、地域交流を通しての社会貢献
- 大会テーマ** 越(こえる) ~ Beyond of i ~
- 申込期間** 2016年8月1日(月) ~ 9月30日(金)
- 参加費(税込)** ※大会参加費、1日目夕食、2・3日目昼食代を含みます。
会 員：**60,000円** [特別割引] **50,000円**
[9月9日(金)までのお申し込み分]
非会員：**65,000円**

主催：全国IBMユーザー研究会連合会 支援：日本アイ・ビー・エム株式会社
協力：新潟IBMユーザー研究会

大会テーマとロゴについて

大会テーマは、参加者の皆様が「研鑽と交流」を通じて得たもの、気づいたものを、iSUCに参加したことによる「価値」として持ち帰り、変化・成長の糧とすることで、今の自分を「越える」ことにつなげてもらいたい、という思いを込めて決定しました。今大会のロゴは、大会テーマの「越」という文字が、「波」と「海」を表現したラインをまさに越えようとしている瞬間をデザインしています。飛び散る波しぶきのような点と羽ばたく朱鷺(とき)は、ユーザー／ビジネスパートナー／ベンダー (IBM) の三者が、それぞれの立場でiSUCに参加することの価値を認識できる「三方よし」の関係性を表現しています。



くわしい案内とお申し込みは：iSUCホームページから
www.uken.or.jp/isuc/

内容は随時更新されます。ブックマークに入れて、定期的にチェックしましょう。
iSUCホームページへは、右のQRコードからアクセスできます。



[実行委員長 あいさつ]



iSUCを モデルチェンジします

第27回 iSUC 実行委員長

梶谷 紀浩

(株) エス・ディー・シー [中部研]

iSUC(アイザック)は、今年で27回目を迎えます。昨年の福岡大会には、369社1,142人の方々にご参加いただきました。また過去26回を振り返ると、延べ6,000社約3万3,000人もの方々にご参加いただいています。組織や立場の垣根を越え、共に学ぶ「研鑽と交流」の場というiSUCの価値を、これまでご参加の皆様が高く評価いただけたからこそ、第27回の大会を迎えられると感じています。

iSUCは、参加者の皆様が変化のきっかけをつかめる場所、問題解決の方策やヒントを得て、会社に持ち帰り実践できるような「気づき」を提供する場所でありたいと願っています。iSUCに参加したことが、参加者ご自身、さらには会社の変化につながり、今の状況を越えて成長するきっかけになればと考えています。

今大会では、iSUCの長い歴史を踏まえつつも、それにとらわれることなく、iSUCのさらなる価値向上を目指して、iSUCのモデルチェンジにチャレンジします。詳しくは、今後、iSUCホームページでお知らせしていきます。

iSUCというリアルな空間で、生きた議論やホットな議論を交わし、多くの友と生きた交流をし、今の自分を「越える」気づき、きっかけを見つけて共に成長していきましょう。

iSUC新潟大会に参加していただいたあなたにしか得られないものを、たくさんご用意してお待ちしています。

事例充実！100を超える多彩なセッション

iSUCのプログラムの中心となるのが、講義型や参加型などのセミナーである「セッション」です。多彩なキーワードを切り口に、3日間で100を超えるセッションが用意されています。

今大会では、今まで以上に「ユーザー企業のIT活用事例」の共有に重点をおいてセッションを構築しています。クラウド、IoT、ビッグデータ、アナリティクス、ソーシャル・コラボレーションといった新しいテクノロジーの活用事例に加え、ワークスタイル変革やメンタルヘルスケアなど、今注目の経営課題も積極的に取り上げ、参加者が自らの変革の足掛かりを得る場にしたいと考えています。

そのほか、知識を豊かにする「教養セッション」、経営層の参加者に向けた「エグゼクティブ・セッション」など、多彩なセッションをご用意しています。

発表する側も聴く側も、同じiSUCの参加者同士です。セッションを通して一緒に考え、自らを“越える”きっかけを見つけてください。



参加型だからこそ得られる手応え！ 垣根を越えたつながりを生む交流の場

iSUCならではのセッションとして、毎年高い評価をいただいているのが「参加型セッション」です。

講師との2Wayコミュニケーションでテーマを掘り下げるタイプのセッションだけでなく、参加者同士が自由に話し合う情報交換型のセッション、体験を共有するワークショップ・スタイルのセッションなど、参加者の皆様が、セッション進行により深くかかわることができる機会を数多くご提供します。

またセッション受講後には、「講師にもう少し質問したい、ディスカッションしたい」という方のために、「セッション延長戦」を実施の予定です。

大会2日目には、女性参加者向けに、「iSUC女性フォーラム」を開催します。講演と参加者同士でのグループディスカッションを通じて、年代・役職・地区を越えた活発な意見交流をしてください。

こうしたセッションだけでなく、「情報交換会 (IES)」、「交流会」、初参加者向けの「ファーストタイムズ・セッション (FTS)」などを通して新しい交流の輪を広げることで、情報収集や業種を越えた人脈づくりができます。



オープニング・セッション 今年のオープニングは **基調対談** です

日本IBM 東京基礎研究所 技術理事 **武田 浩一**氏とWatsonの活用を検討しているユーザー企業様(未定)

テーマ：「IBM Watsonとコグニティブ・コンピューティング」(仮題)

「モデルチェンジするiSUC」ということで、初日のオープニングでは、基調講演ではなく、2人のスピーカーによる対談形式「基調対談」を企画しています。スピーカーのひとり、日本IBM 基礎研究所の技術理事である武田浩一氏。Watsonに密接に関連するテキストマイニングのエキスパートで、当日はWatsonやコグニティブ・コンピューティングについてお話しいただく予定です。最新の技術トピックスはもちろん、日々の生活や仕事での活用にも触れていただき、ユーザー目線で「そこが気になっていた」という疑問に答えていただきます。もうひとりのスピーカーは、IBMユーザー企業様を予定しています。講演のような一方の語りではなく、言葉をキャッチボールし合う対談形式にすることで、今年のiSUCが目指す「新しいインタラクティブの形」につなげます。詳細は、iSUC ホームページで発表予定ですので、ご期待ください。

武田 浩一氏 プロフィール●

1983年日本アイ・ビー・エム(株)入社。以後、東京基礎研究所にて、自然言語処理、機械翻訳、情報の可視化、テキストマイニングに関するプロジェクトに従事。インターネット向け機械翻訳ツール製品化(翻訳の王様)、可視化を利用した情報検索ツール、医文文献テキストマイニングプロジェクト、電子カルテからの知識発見ツール、グローバルなテキスト分析技術の製品化に貢献。2007年12月より、質問応答技術を利用し、クイズ番組で人間の解答者に挑戦するWatsonシステムを開発するグラウンド・チャレンジ・プロジェクトに参画。2012年 文部科学大臣表彰(科学技術賞 開発部門)受賞。2011年より技術理事および国立情報学研究所客員教授。博士(情報学)。

